



どりーまあ通信

第37号 2024年 12月発行

特定非営利活動法人 どりーまあサービス

<http://dreamer-service.org/>

どりーまあ

検索

主な紙面

- 災害BCPP2
- 報酬改定P3
- 新人紹介P8~P9
- 体操教室P10
- 研修レポートP11

令和の「大河の一滴」



理事長 山口 浩志

平成9年(1997年)に開設し、初めてどりーまあ通信を発刊したのが27年前です。通信第1号では「大河の一滴」をテーマに、決意表明として書かせていただきました。

当時は、介護保険制度創設により、保険あつてサービスなしの時代がくるのではないかとというコメントが紙面に掲載されていますが、ここまで人口減少や災害・感染症で苦しむ時代がくることは恐らく誰も予想がつかなかったと思います。

菜根譚に「業を立てて種徳を思わざれば眼前の花偽り」とあります。事業を興しても後々のために徳を残すことを思わなければ、それは単なる眼前の花(あだ花)である、と解釈されています。あだ花とは、実を付けずにはかなく散ってしまう花の意味です。すなわち仕事は利益を追求すること以外に、規模の大小は別として、その仕事

が社会に役立つかどうかも大切であるという意味です。「高齢社会対策大綱」が改定され、企業などで働く高齢者の厚生年金を減額する「在職老齢年金」の見直しが求められています。報告書では、65歳以上で就業する人が増え続けていることを踏まえ、若年世代から高齢世代まで全ての人が「支える側」にも「支えられる側」にもなる社会を目指すことを提案されています。

人口減少、超高齢社会を生き抜く今、私たちの為すべきことのひとつとして、後世に徳を残せられるよう、令和時代に活かせる「大河の一滴」を注げるよう努力してまいります。

リカレント教育について



徳島大学大学院医歯薬学研究部 看護リカレント教育センター長 山下留理子



「リカレント教育」という言葉を耳にすることが多いのではないのでしょうか。リカレント(Recurrent)は、「再発する」「循環する」「繰り返す」といった意味をもちます。リカレント教育とは学校教育からいったん離れたあとも、それぞれのタイミングで学び直し、仕事で求められる能力を磨き続けていく社会人の学びをいいます。

徳島大学看護リカレント教育センターでは、現場の看護職や介護職等に対し、多様なリカレント教育を実施しています。その一つとして、認定看護師教育課程や特定行為研修といった専門性の高い看護職を養成するための研修を開講しています。医療専門職業人としても生涯を通じて学ぶことが求められており、学びと仕事を往復し繰り返しながら、仕事に役立つスキルを身に付けていきます。

リカレント教育は看護職に限ったことではありません。企業・労働者を取り巻く環境が急速かつ広範囲に変化し、労働者の職業人生の長期化も同時に進行する中で、労働者の学び・学び直しの必要性は益々高まっています。変化の時代においては、労働者の「自律的・主体的かつ継続的な学び・学び直し」が重要だといわれています。仕事で求められる知識やスキルを、時代の変化にあわせて継続的にアップデートすることが必要です。

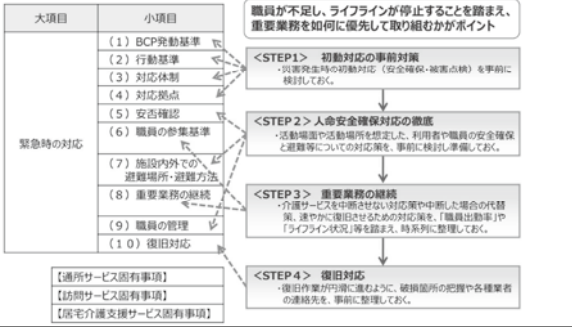
これからの時代は、多様なライフスタイルやライフステージの変化に応じた生き方や働き方がいっそう求められます。学校を卒業した後も、新たな知識やスキルを身につける学び直しは、生き方や働き方の選択肢を増やし、人生の幅を広げることにつながるでしょう。

どリーまあ 火害 BCP

助け合い 学び合い



緊急時の対応_全体像とポイント



日本介護支援専門員協会 災害対応マニュアル第5版 P.56

業務継続計画（BCP）作成の目的

1. 総論

(1) 基本方針

(2) 推進体制

(3) リスクの把握

(4) 優先業務の選定

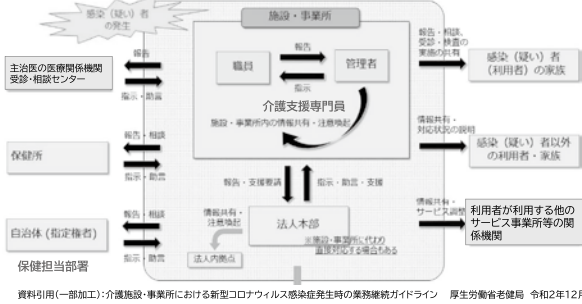
(5) 研修・訓練の実施

BCPの検証・見直し

事業	中断影響度	復旧優先度	中断時の変化					目標復旧期間
			1日	2日	1週間	2週間	1ヶ月	
入所施設	大	1位	大	大	大	大	大	継続
通所サービス	中	2位	小	小	小	小	小	3週間以内
居宅介護支援	小	3位	中	中	大	大	大	3日以内

参考：(株)浜崎総合研究所「災害に強い事業所作り」をアレンジ

【新型コロナウイルス感染（疑い）者発生時の報告・情報共有先：例】



感染疑い者の発生

事前に報告ルート、報告先とその方法、連絡先を整理

3. 初動対応

(1) 第一報

- 管理者へ報告
- 管理者は所属の法人担当部署へ報告
- 地域で身近な医療機関、受診・相談センターへ連絡
- 事業所内・法人内の情報共有
- 指定権者への報告
- 他サービス機関への報告
- 家族への報告

(2) 感染疑い者への対応

- サービス提供の検討
- 医療機関受診
- 他サービス・家族へ急な対応が必要なときはすみやかに！
- 当該利用者を利用している他サービス事業所とも情報共有
- 電話で直ぐに連絡。必要に応じ文書で報告

3. 初動対応

(1) 第一報

- 管理者へ報告
- 地域で身近な医療機関、受診・相談センターへ連絡
- 事業所内・法人内の情報共有
- 指定権者への報告
- 他サービス機関への報告
- 家族への報告

(2) 感染疑い者への対応

- サービス提供の検討
- 医療機関受診

3. 検査

原則入院

陰性

陰性

利用継続

4. 感染拡大防止体制の確立

(1) 保健所との連携

- 濃厚接触者の特定への協力
- 感染対策の指示を即応

(2) 濃厚接触者への対応

<利用者>

- ケアの実施内容・実施方法の確認
- 職・居
- 自宅待機

利用者

- 利用者及び家族へ対し、訪問職員の感染予防における環境整備の理解・協力を依頼。各サービスエリアの実施内容を共有
- 保健所からの情報提出の要請があったときは、すみやかに

職員

- 業務が可能な職員の選定と当該利用者に対する職員について検討し、職員間でリモート等で共有できる体制をつくる
- 職員が濃厚接触者が認められる場合は自宅待機。また職場復帰期間は発熱症状の有無を踏まえ、いずれの場合も保健所の指示に従う

利用者

- 利用者支援の観点でサービスの必要性や代替サービスを検討
- 医療機関への受診の調整

職員

- 休業や職員の振り分け等の検討

災害発生時に対して「平常時の対応」「緊急時の対応」等の検討を通して、①事業活動レベルの落ち込みを小さくし、②重要な事業を中断させず、かつ③可能な限り復旧に要する時間を短くする、などの3点をおさえておき、事業所に合った計画準備が重要です。

全体像とポイント

自然災害や感染症については、ご利用者に対するサービス提供を継続的に実施するための計画（業務継続計画）を策定することが重要となります。

ガイドラインで示された内容の一部をまとめてみました。

目的

業務継続については、災害発生前と同じ事業を継続することは難しく、業務に優先順位をつけなければなりません。こうしたことが事前に周知されることが必要となります。

また各施設や事業により内容も異なりますので細やかな設定をする必要があります。

初動対応

感染症被害の対象は主として人への健康被害がおこることです。職員を感染症から守り、防護具や消毒液は不足に備えて準備しておかなければなりません。

情報共有と発信

初動対応を制するものはBCPを制するといっても過言ではないくらい、初動は大事になります。そのためにも、感染そのものについての対応方法や情報は常に共有しておかなければなりません。

2000年に始まった介護保険法は高齢化による社会保障費の増大と核家族化の進行や介護する家族の高齢化により、介護を地域や社会全体で支える事、介護が必要な方が自立した生活が送れるように支援する事を目的としてスタートしました。近年では1人を1人が支える誰も経験したことのない超高齢化社会に向けて、誰ひとり取り残さない社会、持続可能な社会を目指し変革が行われております。今年度行われた報酬改定について簡単に説明します。

介護報酬改定

2024(令和6)年介護報酬改定

2024年の介護報酬改定は、現在の人口構造や社会経済状況の変化を踏まえ表にもある4つを基本的な視点として実施されます。

- 1 地域包括ケアシステムの深化・推進
- 2 自立支援・重度化防止に向けた対応
- 3 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり
- 4 制度の安定性・持続可能性の確保に関する改定

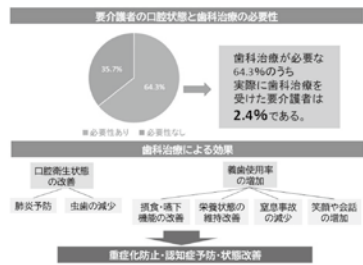
その中でも特に重要、皆さんに関係の深い項目について取り上げます。

☆用語の説明「地域包括ケアシステム」医療・介護などの専門職から地域住民一人ひとりにいたるまで様々な人たちが力を合わせて対応しているというシステムのことです。

看取りへの対応強化
看取りに対する加算等が見直され、訪問看護などはもちろんショートステイや訪問入浴などのサービスでも体制の強化を目指しています。



業務継続計画(BCP)の義務化
2ページに特集があります。
福祉用具貸与・特定福祉用具販売の見直し
一部の福祉用具(固定用スロープ、歩行車を除く歩行器、松葉づえを除く単点杖、

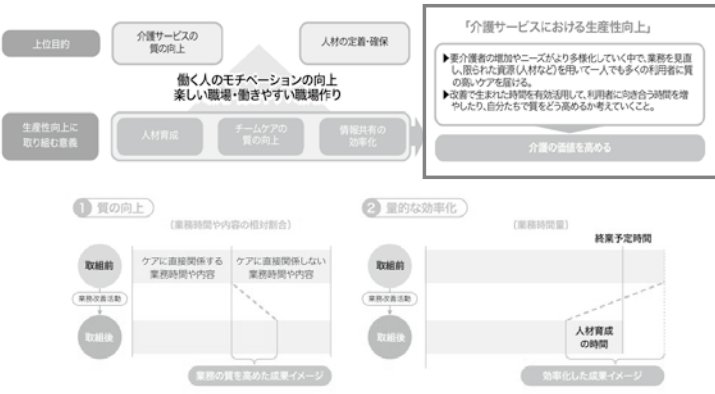


多点杖)がレンタルと購入の選択をする事ができるようにになりました。
リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の体的取組の推進
表にある様に、要介護者は歯科治療の必要性がある方が多いが実際に歯科治療を受けた要介護者は24%と少なく、口腔状態の改善は重度化防止・認知症予防・状態改善につながります。リハビリ、栄養、口腔の取り組みは一体となって運用する事でより高い効果を得られる為、様々サービスで加算の見直しや新設が行われました。

サービスの生産性向上について

日本の人口は減り続け特に、生産年齢人口は減少が続いており、2024年にかけてその傾向がさらに大きくなる事が予測されています。近い将来、高齢化社会のピークを迎え、介護ニーズの急増と多様化に対応する必要がある一方、人口減少社会の到来で生産年齢の介護人材の確保が困難になります。
このような状況の中においても、介護の質を確保し、向上させていくことが、介護現場が直面することになる課題です。こうした課題を抱えつつも、人手不足の中であっても介護現場が地域における安心の担い手として役割を果たし続けるため、

- ① 人手不足の中でも介護サービスへの質の維持・向上を実現するマネジメントモデルの構築
 - ② ロボット・センサー・ICTの活用
 - ③ 介護業界のイメージ改善と人材確保に関する、介護業界を挙げて取り組むことの必要性
- の3つが挙げられています。
厚生労働省は介護サービスにおける生産性向上とは、「二人でも多くの利用者に質の高いケアを届ける」という介護現場の価値を重視し、介護サービスの生産性向上を「介護の価値を高めること」と定義しています。
ICTの活用や一人一人の効率的で質の高い働きでサービスを届け続けられるように業界全体で取り組んでいくことが明記され、この問題にどりーまあサービスでも積極的に取り組んでいます。



思いを言葉に 言葉を行動に

住民参加型在宅福祉サービス 有償ボランティア



有償ボランティア
協力会員
板東 和浩さん

自らの成長と やりがいを探して

待ち合わせの場所で待っていると入院患者さんの外出買物支援から帰り病院内へ送り届けている所でした。

優しい笑顔が印象的な男性、福祉系の仕事をされており自分の休みを使って有償ボランティア活動をしていると言うことでした。支援の内容は買物の送迎付添い・自宅の掃除・病院付添いなど多岐にわたります。

ボランティアを始めたのには2つの理由があり自己研鑽と自分のやりがい作りの為。これまでの仕事で積んだ経験をボランティアで活かすことが出来ないか？自分であれこれ調べているうちにどりーまおサービスの有償ボランティアにたどり着いたそうです。活動の前には自分でシミュレーションを行い、どうしたら利用者様の楽しい時間をフォローできるのか？それを実際にした時に「ありがとう」といわれたその時にやりがいを感じている。今後もこの活動を通じて自己研鑽とやりがいを見つけて自分の糧にしていきたいと笑顔で教えてくださいました。

やりがいを求めて

在宅介護の支えになりたい



現場だけでなく研修でより成長を

もらいました。この経験を経て今後は在宅を中心とした訪問について皆と勉強して行きたいと考えています。



ヘルパーステーションたすけあい
管理者 福居めぐみ

Care worker



ヘルパーステーション たすけあい

このたび4年ぶりに古巣であるヘルパーステーションたすけあいの管理者として戻ってきました。久々のステーションは新たな職員の入職もあり不安と懐かしさの入り混じる少し複雑な心境でした。しかし皆さんが明るく迎え入れてくれそんな気持ちには直ぐに払拭されました。

ホームヘルパーは基本的に1人で利用者様に対応するため、「ヘルパーステーションたすけあい」では新人職員さんが1人で訪問できるようになるまで同行するようにしています。週1回行っているヘルパーミーティングでは、研修等も実施していますが、利用者様の状況報告や困っていること等ヘルパー同士で話し合ったり、情報交換によってチーム力を高めています。介護を受ける利用者様の事情や性格は人によって千差万別で、お家の状態も一軒一軒大きく異なります。この利用者様に合う介護計画はどんなものか、このお家で出来るお手伝いはどんなことを考え、家族様やケアマネージャー等みんなで支え合っていくという事を意識し、これからも訪問していきたいと思っています。



ヘルパーステーションたすけあい
サービス提供責任者 高藤 美香

訪問介護とはとても幅が広く、奥の深い職種だと思っています。高齢の方、障がいのある方、医療的ケアの必要なお子さん、難病を発症された方など利用者様の年齢や置かれている状況は本当に様々です。そのお一人おひとりのかかわりは常に慎重に、細やかに、時には大胆に、そして柔軟に接していかなければなりません。自分の常識が全く通じなかったり、拒否されたり…でも「ありがとう、また来てよ」「待つとるよ」といった少しの言葉に救われたりします。他人の暮らしの中で到底解決出来ないような家庭の事情を知ってしまったこともあります。だからこそ訪問したら全力で業務に当たり全力で手を差し出す、法人理念の言葉通り「寄り添うケア」を続けて行きたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

在宅サービス部門

かんだ

看護は1つの自己実現です



メンバー丸となつてがんばります

令和6年4月よりどりーまあ訪問看護ステーションに入職しました。令和4年からは、約20年ぶ



看護師 長野 玲子

どりーまあ訪問看護ステーション

どりーまあ訪問看護ステーションの新しい看護師の紹介です。新しい仲間を迎え、さらに地域での信頼を集め、地域を支え、そして地域を笑顔に変えていけるように看護師・リハ職一丸となつてチームワークで頑張ります。

令和6年5月よりどりーまあ訪問看護ステーションに入職いたしました。入職するまで在宅や施設での看護経験が全くなく、最初は病院での看護との違いに戸惑うことも多く、慣れないことばかりでした。5か月経った現在でも、訪問を終えた後に利用者様や家族様の意向に沿っていたのだろうか、もっと良いケア方法があったのではないかな等悩む事もあります。しかし、利用者様や家族様との関わりはとても楽しく、時間に追われながら看護をしていた病院時代とは全く違った看護の喜びや達成感を経験させていただいています。今後、利用者様との関わりの中で多くの経験を積み、在宅看護特有の技術や知識を習得していきたいと思っています。

自分の光で周囲を照らす



看護師 大江真智子

りに訪問看護師に復帰しました。以前、在宅の現場に出た時は人生経験も少なく、看護師としても経験不足だと痛感したことを覚えています。今また在宅に関わり改めて感じるの「生活の場であるご自宅に上がらせてもらう」仕事だということ。病院と違い、思うようにいかないこともたくさんあります。そんな時は、まわりのスタッフに助けられたり、利用者様の笑顔が励みになります。利用者様や家族様に「また来てほしい」と思ってもらえるよう、一回一回の丁寧な訪問を積み重ねて信頼関係を作っていきたいと思っています。

生活を支え続ける



理学療法士 中野 公司

訪問看護ステーションリハビリ部門の中野です。

この二年間、沖洲と国府事業所のリハビリ部門では人員の減少や制度改正による訪問回数の見直しがあり、日時や担当者調整などにより利用者様の方々に多大なる迷惑をかけてしまいました。現在はスタッフの増員もあり、安定したサービスの提供を行っております。

今後も個性あるスタッフの能力に応じた業務分担を行い、かつ業務負荷を均等化することで、さらなるサービスの安定化と質の向上を目指します。

また、他職種との連携方法を再度見直し、修正することで、利用者様の生活の質を向上を目指し、少しでも長く在宅での生活を続けられるよう、全力でサポートしてまいります。これからもチーム丸となつて、質の高い安定したリハビリを提供していきたいと思っております。

最後に、皆様のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



地域共生社会への挑戦

～新しい時代に向けて～



ハロウィン気分を満喫

へのお出かけを定期的に行っています。
 限定のスウィーツを買ったり、サイゼリアや猫カフェの下見に行ったり。活動を通して、本屋で本を買って読書を再開したり、家族と映画を見に行ったり、「日々の生活にも変化があった!」と、利用者様や家族様の声も聞かれています。
 これからも「当たり前前の楽しみ」をたくさん感じられるような支援を続けて行きます。

生活介護事業所

夢ハウス



さあ!街に
繰り出そう!

生活介護事業所夢ハウスでは、18歳を迎えた障がい児の方々の新たな居場所作りを掲げ、高齢者向けのデイサービスセンターからリニューアルオープンし、今年で3年目を迎えました。

障がいを持つ人も持たない人も同じ様に楽しみ、生き生きと生活できる支援を目指し、お隣「イオンモール徳島」



目と目で通じ合う心と心

が何にもこだわらずに共に生きることでできる社会のヒントがあるのではないのでしょうか?
 日々そんなことを思いながら障がい児、高齢者と向き合っています。

んでくだわらない、子どもたちとおじいちゃんおばあちゃんの世界。言葉にならない声に語り掛けてくれ、その声に返事を返す。はたから聞くとしたの奇声にしか聞こえないかもしれないが、意志の疎通があり周囲を笑顔にしてくれる力があると思うのです。目に見える優しい行動や声掛けがあるわけではないその世界には、すべての人たちが

医療型児童発達支援

どりーむキッズ



共生社会作りへの
取り組み

どりーまあサービス沖洲事業所には高齢者施設と、障がい児の施設が併設されています。
 コロナ以前と以降では交流の場が格段に減っているように感じます。

そんな中でも垣間見える「優しい」しかない世界がここにはあるのです。障がいのあるなし、認知症のあるなし



迫力ある消防車に圧倒される子供達!!

支援を受けながら地域で育っていくために、身の回りの社会資源に親しみ地域の人々と触れ合っ経験を増やしていきたいです。

避難場所である中学校に防災散歩に行ったり買い物訓練でスーパーやドラッグストア・果物店に出かけています。
 今年の夏はひととき暑さが厳しく熱中症の警戒アラートの発令とコロナの感染増加により外出を控えざるを得ませんでした。子ども達が種々の

児童デイサービス

どりーむキッズ よしの川



共生社会を
めざして



楽しいお買物♪
 ぶきッズよしの川では、夏休みや祝日などの学校休業日に

社会見学として地元の農産物や消防署・交番の見学に出かけたり、避難訓練の一環で近くの医療センターや指定

サービス付き高齢者向け住宅

どりーまあのサービス付き高齢者向け住宅の紹介です。各施設で特色があり取りくみも違います。今年各施設の様子をご紹介します。

第2のふるさとを目指して

今年5年ぶりに秋祭りを開催することが出来ました。今回は阿波のちんどん「あわだぬき」さんに来ていただき懐かしい歌や楽しい踊りなど見て皆さん非日常を楽しむことが出来ました。来年は大規模な祭りの復活が出来るように準備できたらと思います。

当たり前前にできていたことを取り戻し皆様の顔が若返り、楽しいと感じて頂けるような生活を提供してまいります。



ちんどんの音色に自然と心も踊る♪

サービス付き 高齢者向け住宅 『レスポワール』

レスポワールには様々な年齢層やご病気を持った方が入居しています。その方に合ったサービスを多種の職員が協力する事でより良いもの出来る様努めています。コロナが5類になり利用者様と家族様の面会や外出が出来た時、私達との関わりで見せる顔とは違った生き生きとした表情を見る事が出来てこちらもうれしくなりました。

サービス付き 高齢者向け住宅 『レスポワールⅡ』

穏やかな時間の中にたくさん笑顔が！
夢ファミリーのお誕生会は、利用者様のお誕生日当日に開催されます。生花のプレゼントとハッピー・バースデーの大合唱でお祝いし、特別な日を一緒に楽しめます。また、インタビュー形式の質問コーナーでは、普段お尋ねしにくいことを、笑いを交えながらお答えいただき、和やかなひとときが生まれています。中には「花より団子」といったご意見もあります



いくつになってもお花は嬉しいもの
は、普段お尋ねしにくいことを、笑いを交えながらお答えいただき、和やかなひとときが生まれています。中には「花より団子」といったご意見もあります

の花からエネルギーをもらい、健やかな一年を重ねられることを願っています。
普段のレクリエーションでは、脳トレや音楽療法、書道、テニスボールリング、ビーチボール蹴り、風船バレーなど、多彩な活動を行っています。また、昭和の懐かしい歌を一緒に歌ったり、デイルームに春夏秋冬の季節飾りを工夫して制作したりしています。色和紙を使った飾りつけも好評です。
コロナ禍では、状況が厳しくなったり、緩和されたりと不安定な時期が続いています。面会や買い物、外出に制限がある中で、ご不便をおかけすることもありますが、少しでも気分転換でき、皆様が明るく過ごせるようサポートいたしますので、どうぞご安心ください。

自立支援は食支援から

ジュースを購入されています。
施設内に厨房があり管理栄養士のものと厨房職員により皆様へ感謝の気持ちを含めた特別な行事食を提供し普段とは違ったメニューに利用者様からも嬉しい声が聞かれています。
春と秋には季節の野菜苗植えつけをし野菜の成長を楽しむにされ200本を超えるきゅうりを収穫することができ厨房調理により食事提供を利用者様に旬の味を楽しんで頂くことができました。

サービス付き 高齢者向け住宅 『福寿草』

北佐古福寿草では隣接している松村内科の医師により24時間対応して下さり医療面が充実しており他職種との連携により良いサービスを提供できるように心掛けています。
毎週金曜日には「とくし丸」が来て買物を楽しみにしている利用者様が好きなお菓子や



家庭菜園のすいかに感動

月に一回開催するおやつレクでは生活リハビリと身体機能維持を目的とし季節のメニューを楽しみにされています。様々な行事やレクにも積極的に参加していただきご自身の生活リズムを保ちつつ刺激的で活動的な毎日を通していただければと思います。今後安心して心地よい生活ができる環境づくりに励んでいこうと思います。

新入職員
紹介コーナー



どりーむキッズよしの川
看護師 大倉 春奈

今まで神経筋難病基幹病院にて15年間看護師として勤務してまいりました。今まで障がいを持つ子どもたちに関わる機会は少なく、以前の仕事とは全く異なり、戸惑うこともありましたが、日々可愛らしい利用児とともに過ごさせていただき、周囲のスタッフにも助けられ、充実した日々を送ることができています。また、放課後等デイサービスとしての役割・支援方法についても日々学ばせていただき、今までの経験をしっかりと生かし、利用児がよりよい日々、将来に向けた活動をしっかりと行えるようサポートしていきたいと考えております。利用児や家族一人ひとりの気持ちに寄り添い、私にできる看護とは何かを考え、日々行動していきたいと思っております。



居宅介護支援事業所どりーまあ徳島
介護支援専門員 瀧下みどり

この度、7月より入職しました瀧下と申します。主に北佐古福寿草で介護支援専門員として

勤務をしています。以前はグループホーム、デイサービスで約20年間勤務し、施設での介護支援専門員の経験を経て、どりーまあ徳島に入職となりました。在宅の方々の介護支援専門員業務は初めての経験になります。自分ができるのか、新しい環境に馴染めるのか等、不安をたくさん抱えての業務ですが、先輩方が丁寧に二つ三つ教えてくださり安心して仕事に取り組んでいます。利用者の皆様、ご家族様が笑顔で充実した毎日を過ごせるよう職員一同全力でサポートしていきます。どうぞよろしくお願ひ致します。



居宅介護支援事業所どりーまあ徳島
介護支援専門員 山口 由恵

はじめまして。山口由恵と申します。6月より介護支援専門員として入職いたしました。これまで、障がい者支援施設の生活支援員や精神保健福祉士を経て、障がいを持つ利用者様や家族様が抱える困りごとや生活のしづらさを、フォーマルおよびインフォーマルな社会資源を用いてサポートする相談支援専門員として働いております。相談業務の経験はありますが、介護支援専門員としての経験や高齢者支援は初めてで、戸惑いも多いです。しかし、先輩方にご指導をいただきながら、日々業務に取り組んでおります。今までの経験を活かし利用者様や家族様のご意向に沿った生活を送ることができるよう尽力いたします。よろしくお願ひいたします。



ヘルパーステーションたすけあい
訪問介護員 傅藤 朱美

今年の4月より、どりーまあに入社し、ヘルパーとして働く事になりました。早半年が経ちました。介護職は初めてで、右も左も分からない状況で不安でいっぱいでしたが、「たすけあい」の先輩方にとっても優しく親切に教えて頂き、少しずつ仕事にも慣れてきた所です。

最初は「訪問介護の仕事って大変そう」という印象を持っていましたが、訪問介護のヘルパーは、利用者様との距離が近く、コミュニケーションの機会が多いため「いつもありがとうございます」とても助かった」「嬉しい」といった感謝の言葉をたくさん伝えて貰う事ができて日々やりがいを感じています。常に、利用者様とのコミュニケーションを大切に、よりよい信頼関係を築けるように気を付けていきたいと思ひます。



ヘルパーステーションたすけあい
訪問介護員 楠谷真実子

どりーまあサービスに就職して2か月がたちました。私にとって介護の仕事は初めて、もちろんヘルパーの仕事も未経験です。

始めは先輩ヘルパーさんに同行訪問させてもらいました。緊張している私に利用者様より「頑張つて」「ありがとう」と声をかけて頂き嬉しかったです。

掃除・調理・買物・入浴のお手伝いなどその方に

よってやり方が違い、こだわりもありそれを覚える事も大事なことの1つです。まだ二人での訪問は不安や緊張がありますが、少しでも利用者様の要望や思いを把握し、来てもらってよかったと思っただけのようにコミュニケーションを大切に、日々努力していきたいと思っています。



どりーまあ訪問看護ステーション
理学療法士 前田 彩子

初めまして。11月5日にどりーまあ訪問看護ステーションに入職しました、前田彩子と申します。実は6年前まで3年半程アルバイトの理学療法士として、どりーまあ訪問看護ステーションで働いておりました。

久々の徳島、久々の訪問リハビリで、毎日緊張しながら仕事をしています。昔と変わった所も多いのですが、以前より見知ったスタッフさんや利用者様にお会いすると、非常に安心します。

今後の目標・抱負としては、在宅で生活する新生児期から老年期までの、様々な利用者様に対応できる理学療法士になりたいと考えております。私の専門が小児分野である事もあり、小児に関しては外来から入所施設までの経験はありますが、高齢者の経験はほとんどありません。現在どりーまあの先輩理学療法士方に同行して、色々と勉強させて頂いております。対象年齢によって注意点などが全く違うので、新しい発見がたくさんあります。

色々と不勉強な所もあるかとは思いますが、精一杯頑張ろうと思います。今後共、よろしくお願致します。



ヘルパーステーションたすけあい川内
訪問介護員 工藤ゆかり

人生で初めての介護の現場に飛び込んだのは9か月前。今の自分に何が出来るのかと考えた時「介護職」という結論に至りました。介護福祉士実務者研修を経て、介護福祉士を目指し日々奮闘中です。

介護職は全く初めての世界でしたがどりーまあの先輩職員や利用者様に教えて頂きながら頑張っています。介護事故を起こさない事、利用者様の笑顔を引き出すことが出来る様に技術や知識を増やしていきたいと考えています。

これから元気で明るい職員として頼りにしていただける様邁進して参ります。その為に今だけではなく先の事も考え、予測して前に進みたいと思います。利用者様にとって心地よい介護とは何か：介護の真髄を突き詰めていく所存です。

ひだまり訪問看護ステーション

理学療法士 細井 貴志

令和6年8月より国府事業所に入職しました。

以前は病院や施設でリハビリを行っていましたが、訪問リハビリの経験はほとんど無いですが、ひだまりに入職してから在宅利用者様の生活の中でのリハビリの大切さを学んでいます。

訪問するリハビリでは症状を維持される方。症状が進行していく利用者様が占めます。



どりーまあ介護ウェルビーング宣言 (3つのワーク)

ネットワーク(つながる)

仲間とつながり、地域とつながりを大切に社会に貢献してまいります

チームワーク(ささえあう)

「All for one, One for all」
みんなは一人のために一人はみんなのために
を基本にさまざまな局面を乗り越えてまいります

フットワーク(行動力・機動力)

ケア実践における心得として
「すぐに動く」をモットーに成長してまいります

ADL(日常生活動作)に加えてQOL(生活の質)の向上とは何かを現場を通じて考える事が大事だと考えます。
何より利用者様やその家族様に安心していただき、リハビリを提供していきたい。
リハビリを続けて良かったと言っていただけという頑張っていたと思います。
約2カ月経ちましたが、訪問リハビリに馴染むよう助言・サポートしてくださるスタッフに感謝いたします。

体操教室

徳島市元気高齢者づくり事業



少数精鋭でがんばっています

沖洲体操教室

沖洲コミュニティーセンターに入ると、何やら楽し気な声が。体操教室におたずねしたタイミングがちやうど休憩中。休憩中にも拘わらず、椅子に腰かけることなくみんなでおしゃべり。参加者の方にお話をお伺いすると、「これが楽しいんじや」「ここに来てみんなの顔見て、おしゃべりして、ルンルンじや」もちろん体操にも真剣に取り組まれている。「ここに来よつたら、肩こりや全然ない」「休まんと来なあかんのよ」とはつらつとした笑顔でお話をされているのがとても印象的な沖洲体操教室のみなさん。いざ体操が始まると、高く上がる足に元気な足踏みの音。先生からは、基本の体操を軸にその

日の皆さんの体調や雰囲気に合わせて、プログラムを工夫しながら教室を行われているとのこと。笑顔溢れる体操教室でこれからも皆さんと楽しい時間を過ごし
てみませ
んか？

開催日時 月曜日 13:00~15:00
木曜日 9:30~11:30
場所 沖洲コミュニティーセンター

この度も体操教室の様子をご紹介させていただきま
す。平成16年度から徳島市介護予防事業として始まった
「徳島市元気高齢者づくり事業」に法人として平成17年
度から参画させていただいており、19年目に入ります。
今回は沖洲教室と昭和教室のご紹介をさせていただきます。

昭和体操教室

手も足も口もしっかり運動！

教室に入ると開始前からたくさん
の話し声や手を取り
合う参加者さん
がいらつしやいまし
た。

「体操だけでなく、
気が合うお友
達ができ、話ができること
がストレス解消や楽しみな
な。お喋りの時間を大切に
しています。」と指導員の先生に
教えて頂きました。

早い方は、なんと始まる1
時間前から来てくれているそ
うです。

教室が始まってから16年、
続けてきてくださっている参
加者さんから「家の事情で少し休んだ事はあったけど、こなおれん！生
甲斐よ！」「せなあかんとわかっついていても一人では運動は続かない」「ここ
に来るとみんなが居て、負けんようにせなあかんと思っくんよ」とお話し
を伺いました。
笑顔と笑い声のたえない昭和教室。皆さん是非ご参
加ください。



大所帯でもわきあいあいと



開催日 水・金曜日
時間 10:30~12:00
場所 昭和コミュニティーセンター

どりーまあサービスでは内部研修に加えOFF-JTと呼ばれる外部研修の参加も積極的に行っています。セミナーやeラーニングなどで受講し、必要な知識やスキルの習得を図ることを目的としています。今年度の研修報告をご紹介します。

研修 レポート

重症心身障がい児の「できる」を見つける
テクノロジー活用「事例検討編」



どりーむキッズよしの川

看護師 大倉 春奈

とき 令和6年8月27日(火)

テーマ 重症心身障がい児の「できる」を見つけるテクノロジー活用

講師 「一般社団法人できわかクリエイターズ」

代表理事・作業療法士 引地 晶久氏

重症心身障がい児者の支援を考える際の基本的な考え方や可能性を引き出す為のテクノロジー活用から事例(VOCA)を使ったコミュニケーション(余暇活動)を基に学びを深めると言う研修にZOOM参加させていただきました。

重症心身障がい児者に対する最新テクノロジーの活用方法について事例を用いた研修でした。動きを受ける手段さえあれば、どの部位でも活用することができ、ビッグスイッチや視線入力等アプローチ方法は様々。対象者が普段使いしやすい入力環境を整えることが重要だと学びました。選択すること、環境を統一させること、経験を深めることの大切さに加え、継続する重要性も必要とされます。学校のテクノロジーはその子の人生に繋がり、次の人生へのバトンを渡す場です。地域や利用事業所としては、その活動をしっかりと理解し情報共有を行い、サポートできるように関わっていくことが役目であると言うことに気づかされました。

この研修を活かし今後しっかりとテクノロジーなどを利用し、お子様をサポートしていきたいと思っています。

新任職員研修「福祉の専門職を巨匠として



ヘルパーステーションたすけあい

訪問介護員 傅藤 朱美

今回「福祉の専門職を目指して」という新任職員研修に参加させていただきました。

- ① 社会福祉に従事するものとしての価値を論理
- ② 演習・滅び行く地球からの脱出計画
- ③ チームはビルドしていく

の項目で講義や演習、グループワークが行われました。中でも「滅び行く地球からの脱出計画」という大変ユニークなテーマでのグループワークが印象的でした。

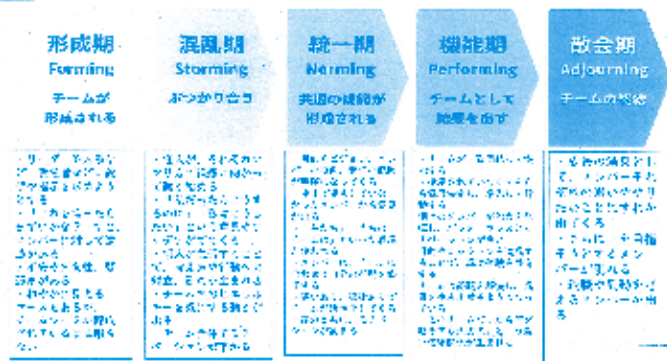
10人の候補者の中から地球から脱出するロケットに乗る事が出来るのは6名。性別年齢職業候補者のコメントを基に人類の行く末を担うのにふさわしい人材を選択するというものでした。他者が必ずしも自分と同じ意見ではなく、それぞれに違った考え方や価値観を持ち、絶えずこの価値観があると言うことに気づかされました。

組織形成やチームワークを築いていく過程で大切なことは、各自がチームの「一員である」と言う自覚を持ち、組織内のルールを守り信用信頼される職員になると言うことでした。

「何かしてもらおう」ではなく自分が「何かする」という姿勢で取り組んでいくことが仕事をしていく上で重要であると言うことでした。

私自身自分の価値観から物事を解釈したり判断しがちですが、この研修を通じて学んだことを生かしヘルパーとして仕事をしたいと思っています。良く考え、そして相手をよく理解して福祉の専門職として働いていきたいと思っています。

チームは「ビルド」していく



令和6年度 研修計画

年	月	全 体 研 修	担当委員会	次世代育成研修
6	4月			
	5月	職業倫理及び法令順守 個人情報プライバシー保護	理事長	
	6月	感染症及び食中毒(BCP)	防災・感染対策	制度を知る
	7月	事故防止及びヒヤリハット、リスク管理	事故防止	
	8月	①緊急時の対応 ①虐待防止及び身体拘束	身体虐待防止	
	9月	ハラスメント対策	ハラスメント	チームリーダーの心得
	10月	災害対策(BCP)、緊急時対応	防災・感染対策	
	11月	②緊急時の対応 ②虐待防止及び身体拘束	身体虐待防止	
	12月	認知症及び認知症ケア研修 介護予防及び介護度進行予防研修	研修委員会	人材評価力
7	1月	災害対策(BCP) 感染症蔓延防止研修	防災・感染対策	
	2月	生活リハビリ実践研修	研修委員会	
	3月	各委員会活動報告会	研修委員会	セルフマネジメント

令和6年度 委員会構成(ワーキンググループ)

◎委員長 ○副委員長

部 門	末 広	沖 洲	川 内	北佐古	国 府	よしの川
研修の運営デジタル	河野	◎松長	工藤	阿部	原田	尾崎
防災対策感染症対策(BCP)	福本	中野			◎児島	浅田
身体拘束虐待防止	◎福居		山本智	○向井	南	稲井
事故防止リスク管理	○福本	中野	◎北村	原		
ハラスメント	棚野	◎丸山	○森	濱口	児島	○山口(チーフ)
広報	◎岸野・○藤原・工藤・中山					

令和6年度 専門部門

	リーダー		リーダー
看護部	児島 恭子	住宅部	山口 拓也
リハビリ部	中野 公司	ケアマネジメント部	谷口 和子
介護部	福本 誠司	給食部	濱口ひとみ
児童福祉部	麻野美保子	地域推進部	山口 拓也